

日蓮大聖人御書全集

りょうにんおんちゆうごしよ

兩人御中御書

新版
1500

りようにんおんちゆうごしよ

兩人御中御書

こうあん

ねん

がつ

にち

さい

にちろう

いけがみむねなか

弘安2年

(79)

10月20日

58歳

日朗・池上宗仲

だいこく あじやり

右衛門

大 夫

さかんのとう

もう

こ

大国阿闍梨・えもんのたゆうの志殿等に申す。故

だいしんのあじやり ぼう

おのおの

おんはか

ぞん

そうろう

大進阿闍梨の坊は各々の御計らいにあるべきかと存じ候

いま

ひと

じゅう

そうろう

に、今に人も住せずなんど候なるは、いかなることぞ。

讓

じょう

無

ひとびと

はか

そうら

ゆずり状のなくばこそ、人々も計らい候わめ。くわし

承

そうら

弁

あじやり

そうろう

くうけたまわり候えば、べんの阿闍梨にゆずられて候

由

そうら

異議

覚

よし、うけたまわり候いき。またいぎあるべしともおぼえ

そうろう

おんもち

べつ

しさい

そうろう

しさい

ず候。それに御用いなきは、別の子細の候か。その子細

だいこくあじやり　たいふどの　おんはか

なくば、大国阿闍梨・大夫殿の御計らいとして、弁阿闍梨の

ぼう　毀　渡　たま　そうら

坊へこぼちわたさせ給い候え。

こころ　賢　ひと　そうら　思　そうろう

心けんなる人に候えば、いかんがところおもい候ら

べんのあじやり　ぼう　修理　広　漏　しよにん　おん

め。弁阿闍梨の坊をすりしてひろくもらずば、諸人の御た

おん　宝　そうら　冬　焼　亡

めに御たからにてこそ候わんずらんめ。ふゆはしようもう

繁　焼　損　もう　ひと　笑

しげし。もしやけなば、そんと申し、人もわらいなん。こ

文　着　りようさんにち　うち　ことき　おのおの　ごへんじた

のふみついて両三日が内に事切つて、各々の御返事給び

そうら　きようきようきんげん

候わん。恐々謹言。

じゆうがつはつか　にちれん　かおう

十月二十日　日蓮　花押

りようにんおんちゆう

両人御中

譲

じよう

違

ゆずり状をたがうべからず。